

**放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）**

公表：令和 5年 4月 1日

事業所名 みらいデイサービス あすなろクラブ本庄

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			構造化し、個々の活動が見通しを持つて活動ができるように支援している。	その都度、個々の利用児に応じた、刺激統制や環境調整を考えて支援している。
	2 職員の配置数は適切である	7				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		7			必要に応じて、手すり等の設置を検討をする。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7				
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7				改善内容をホームページにて発信できるようする。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			ホームページで公開をしている。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			7		今後、第三者外部評価を取り入れるか検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			子ども達への理解を深める為の研修を行っている。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		7			標準化されたアセスメントの方法を理解し、アセスメントの向上を図る。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7			利用児の状況について、何かあれば、その都度、スタッフ皆で話し合いどうすればいいのか考えている。	
適切な支援の提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7				
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7				長期休暇中の体制はにより外出や映画鑑賞など、その時の状況を見ながら組んでいる。今年はコロナで外出は全くできなかった。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7			利用児の発達段階によってワークを制作し、取り組むことができている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			朝礼を毎日行い、支援や役割について確認をしている。	

	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		終礼を毎日行い、支援内容や気づいた点の共有を行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとるこどと徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		各児童の担当がその日にあつた事や児童の様子を詳しく記録に残している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7			
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7			
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		定期的に支援会議等に担当者が代表として参加したり、日頃から送迎時に情報を共有している。	移行支援会議や学校主催の会議に参加し情報共有に努めている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		7	現状では、医療ケアの必要な利用児はない。	現在は非該当であるが、該当するケースがあれば、体制を整えて支援する。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		小学校や関係機関との支援会議を実施している。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7		高等部の支援会議に積極的に参加をしている。学校や保護者の方や関係機関と情報共有をしている。	市町村の依頼時には、情報を共有している。また、必要に応じて、作業所等の情報を提供をしている。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		専門機関と提携し、必要に応じて、相談・助言をしてもらっている。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		7		保護者のニーズに合わせて検討していくたい。
	27 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	7		中部地区、放課後等デイサービスに毎月参加をしている。	コロナの影響もあり、集まることが難しく、ズームでの開催で参加した。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		送迎の際や連絡帳、電話などで保護者の方話をしている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特レーニング等の支援を行っている	7			必要に応じて対応しているが、今後も専門の方へ繋げながら支援の向上を図っていく。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7		定期的にママズルームを開催している	コロナの影響もあり、開催できない月があった。今後も状況を見ながら開催していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		苦情委員会を設置をしている。また、市や県の苦情窓口の情報を提供している。	契約時に苦情を受け付ける機関（佐賀市、佐賀県）を重要事項説明書に記載をして説明をしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			二月に一回、通信を出して対応している。
	35	個人情報に十分注意している	7			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		7		地域ネットワークを把握し、保護者の方の承諾を得て、実施できるか検討していきたい。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7		契約時に説明をしている。	周知徹底のため、毎年度、配布をし、再度、周知できるように努めていきたい。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		定期的に避難訓練を行っていた事で、実際に火事があった時にスマートに避難することができた。	実際に近隣火災の避難を通して、避難訓練では見えてこない課題が分かり、今後の避難訓練に生かすように心掛けたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			研修に参加し、職員会議で情報を共有している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		7	現状では、必要なケースはない。	現在は非該当であるが、該当するケースがあれば、十分に説明や同意を得た上で計画書に記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			冷蔵庫のドアにアレルギー者を掲示している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		ヒヤリハット事例を共有することでお互いに気を付けようという心構えを持って仕事をすることができている。	